

総務厚生

研修医の受け入れは病院経営に重要

12月11日に本委員会を開催し、所管事務調査を行いました。

各担当課から、

①第5次総合計画の策定状況について

②第4次行財政改革大綱の策定状況について

③法人町民税の動向について

④戸籍電子化の進捗状況について

⑤定額給付金の支給状況について

⑥次世代育成支援行動計画の策定状況について

⑦子育て応援特別手当の支給状況について

⑧研修医施設の整備についてなどの説明を受けました。

委員から①について「何に力を入れていくのか」という問いに社会資本整備などがすすんだ今、重要なのは人口減少をいかに緩やかにするかであり、子育て重視と地域生活圏に目を向け、町民がこの町に住んでいきたいと思えるような計画を作成していきたいとの回答がありました。

②では、平成22年4月における町職員の定員適性化計画の目標人数は223人ですが、実際は203名で人件費の削減にはなっているが、業務量によって目標人数を設定し町民サービスの低下につなが

がらない様にすすめていきたいと説明がありました。

⑧では、平成16年度から導入された新医師臨床研修制度に、地域医療研修2年間で義務化され、当病院も2年目の医師を受け入れています。受け入れ体制を充実していくことは、今後の病院経営にはメリットが大きいので単身者用医師住宅の整備を行いたい。

内容としては、旧荒砥駐在所用地を購入し、住宅2戸を建築して敷地整備を行いたいというものでした。



すこやかな成長を願って

鮎貝まちづくり事業調査特別委員会

一括発注の理由は

12月14日に鮎貝まちづくり事業調査特別委員会を開催しました。

子育て支援住宅の整備については、6戸を建設するが、本日の入札で、(株)鈴木工務店が落札したとの報告がありました。(予定価格9890万円に対し、落札価格9700万円、落札率98.08%)

委員から「前回の6戸は



あゆーむでの展示